

東京 2020D&I アクション

-誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの人々が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

- 私たち日本オリンピック委員会は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が東京 2020 大会を介して取り組む、共生社会の実現を全面的にサポートします。
- 私たち日本オリンピック委員会は、人種、肌の色、性別、性的指向及び性自認、障がいの有無、宗教、国籍、年齢など、それぞれの個性を尊重しながら、お互いに認め合い、各自がそれぞれの個性を生かし、自分らしく活躍できる組織を目指します。
- 私たち日本オリンピック委員会は、加盟団体とともに、世界のトップアスリートとベストを尽くしてフェアに競い合う日本のアスリートの育成を通して、お互いに相手をリスペクトすることの大切さをスポーツを通して社会へ発信します。

2021 年 8 月 18 日

公益財団法人 日本オリンピック委員会
会 長

